

眼内レンズ偏位・落下の多施設共同研究

本学で実施しております以下の研究についてお知らせいたします。
本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としまして
ないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	眼内レンズ偏位・落下の多施設共同研究
研究期間	2020年 9月倫理審査承認日～2023年 4月30日
研究対象情報の取得期間	下記の期間に眼科を受診され、眼内レンズ（IOL）偏位・落下の症状の方 2020年 5月 1日～2021年 4月30日
研究に用いる試料・情報	カルテ情報
研究概要	（研究目的、意義） 近年では白内障手術件数が年間150万件を超えていますが、その合併症として術後のIOL偏位・落下が生じることがあります。IOL偏位が大きくなれば、視機能障害を自覚し、さらに慢性炎症から続発緑内障に至ることもあり、硝子体内に落下する場合もあります。今回我々は、全国的な多施設共同研究としてIOL偏位・落下症例を前向きに調査し、その危険因子および発生頻度を把握する調査を研究の目的とします。 （研究の方法） 研究協力施設において、IOL偏位・落下のため手術を要したい症例を対象とし、患者背景、危険因子およびIOL2次挿入法に

ついて、匿名化した資料を回収し、データ解析します。戸田ごとう眼科に情報を集め（研究責任者：田淵 仁志、研究担当者：後藤 憲仁）が解析します。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）

（外部への資料・情報の提供）

IOL偏位・落下のため手術を要した症例のデータ（患者背景、危険因子およびIOL2次挿入法）を匿名化し10文字以上のパスワードを設定したZIPファイルで日本白内障屈折矯正学会事務局が2カ月ごとに回収する（パスワードは毎回変更し、学会事務局へはFAXで送付する）。

（研究組織）

＜代表研究機関＞

広島大学大学院医系科学研究科

医療のためのテクノロジーとデザインシンキング

＜研究責任者＞

広島大学大学院医系科学研究科

医療のためのテクノロジーとデザインシンキング教授

田淵 仁志

兵庫医科大学

眼科学 主任教授

五味 文

＜共同研究機関＞

林眼科病院、戸田ごとう眼科

＜試料・情報の提供のみ行う機関（共同研究機関以外）＞

兵庫医科大学眼科と37施設

（個人情報の取り扱い）

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。（モニタリング有の場合）ただし、モニタリングのためプライバシーが保護されることを条件に、研究者から業務委託された者が、あなた個人を特定できる形で診療情報を閲覧することがあります。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。

本研究に関する
連絡先

兵庫医科大学病院 眼科
五味 文（研究責任者）
木村 直樹（研究担当者）

TEL | （平日 9 : 00～17 : 00） 0798-45-6270（眼科外来）
（上記時間外） 0798-45-6111（代表）